

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月01日

計画の名称	海老名市の公共下水道における防災・安全の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	海老名市												
計画の目標	下水道施設の耐震化を進め、災害に強い下水道施設の実現を図る。 下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,221	A	1,215	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.49	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道施設における管渠の可とう化実施率を増加させる。 下水道における管渠の可とう化（可とう性継手整備）率（%） 可とう性継手整備済み箇所（箇所）/可とう性継手を整備すべき重要な箇所（箇所）	0%	9%	100%
2	マンホールトイレ整備率を増加させる。 下水道におけるマンホールトイレ整備率（%） マンホールトイレ設置済み箇所（箇所）/マンホールトイレ設置予定箇所（箇所）	0%	0%	100%
3	下水道による都市浸水対策達成率を増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積（ha）	42%	43%	43%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(汚水)	改築	管渠施設耐震化(地震対策)	可とう性継手設置	海老名市						61		策定済
		平成29年度は既計画で実施																	
	A07-002	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(汚水)	新設	マンホールトイレ設置(地震対策)	2箇所	海老名市						40		策定済
	A07-003	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(雨水)	新設	河原口排水区排水路	L=850m	海老名市						220		-
		平成28、29年度は既計画で実施																	
	A07-004	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(雨水)	新設	国分排水区排水路	L=523m	海老名市						453		-
		平成28、29年度は既計画で実施																	
	A07-005	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(雨水)	新設	社家排水区(その3)排水路	L=60m	海老名市						9		-
		平成28、29年度は既計画で実施																	
	A07-006	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(雨水)	新設	今里排水区(その2)排水路	L=432m	海老名市						151		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(雨水)	新設	杉久保排水区排水路	L=125m	海老名市						180		-	
	A07-008	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠(雨水)	新設	貫抜排水区排水路	L=100m	海老名市						101		-	
												小計						1,215		
											合計							1,215		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 汚水）	新設	マンホールトイレ設置（ 地震対策）	ポンプ設備・非常用発電機等	海老名市						6	-		
		下水道総合地震対策において、被災時の暫定的な対応計画に位置付けている避難所に設置するマンホールトイレの機能を補完する。																		
											小計						6			
											合計						6			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
海老名市下水道運営審議会により実施	令和4年12月
	公表の方法
	海老名市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	耐震化を行うことで災害に強い下水道施設の整備及び緊急輸送路の安全の確保に寄与した。 マンホールトイレを設置することで、災害時における公衆衛生の保全に寄与した。 浸水被害箇所や未整備路線を整備することにより、浸水被害の低減に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
緊急輸送路等重要路線を優先に耐震化を積極的に図り、災害に強いまちづくりを今後も継続していく。 マンホールトイレが未設置の避難所や公共施設において、必要に応じて設置を検討していく。 局所的な集中豪雨など、内水氾濫による浸水被害を軽減するため、浸水被害の多い箇所や未整備路線の整備を今後も継続する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	緊急輸送路上の対策を優先したため交通規制による施工制限があったことや、地下水位が高かったため止水工に想定以上の時間を要したこと、マンホール内の汚水量が多く仮排水の必要が生じたことなどにより、施工量を確保できなかったため。
	最終実績値	26%	
2	最終目標値	100%	災害時の避難所に位置付けられている福祉施設等にマンホールトイレを設置し目標を達成した。
	最終実績値	100%	
3	最終目標値	43%	予定していた箇所の浸水対策整備を完了させ目標を達成した。
	最終実績値	43%	